

令和5年度
教育委員会事務の点検・評価報告書
(点検・評価実施年度：令和6年度)

令和6年10月
豊川市教育委員会

目 次

I	点検・評価の概要	1
	1 目的		
	2 学識経験者の知見の活用		
	3 点検評価委員会設置要綱		
II	教育委員会の活動状況	3
	1 教育委員会会議		
	2 第3期豊川市教育振興基本計画体系		
III	点検評価	6
	1 自己評価の見方		
	2 選定事業及び外部評価		
	3 評価の結果		
	4 自己評価及び目標指標の状況		
	5 個別シート		

I. 点検・評価の概要

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)第26条第1項の規定に基づき、豊川市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、より効果的な教育行政の推進を目指すとともに、その結果を公表し、市民の皆様への説明責任を果たすことを目的としています。

2 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定により、豊川市教育行政事務点検評価委員会を開催し、3名の学識経験者の方から評価や意見をいただきました。

氏 名	役 職 等
小 林 康 典	元豊川高等学校長
梅 村 賀 代 子	元市民と行政の協働推進委員
片 桐 早 奈 美	元社会教育委員

・第1回 点検評価委員会 : 令和6年 7月31日(水)

議題 令和5年度豊川市教育委員会事務点検・評価報告書について

・第2回 点検評価委員会 : 令和6年 9月27日(金)

議題 点検評価委員の評価及び意見等(案)について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

3 点検評価委員会設置要綱

豊川市教育行政事務点検評価委員会設置要綱

(設置及び目的)

第1条 豊川市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第1項に規定する教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うにあたり、同条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、豊川市教育行政事務点検評価委員会（以下「点検評価委員会」という。）を設置する。

(職務)

第2条 点検評価委員会は、毎年、次に掲げる事項について点検するとともに、その成果及び課題を整理して、教育委員会に報告するものとする。

- (1) 教育委員会の基本方針として年度毎に定めた主要施策に関すること。
- (2) 前号に掲げる事項のほか、教育委員会の諸施策や事務事業に関すること。

(組織)

第3条 点検評価委員会は、委員3人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、委嘱した日の属する年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 点検評価委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、それぞれ委員の互選によってこれを定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 点検評価委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 点検評価委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、意見を聴取し、又は必要な資料等の提出を求めることができる。

(庶務)

第6条 点検評価委員会の庶務は、教育委員会庶務課において行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、点検評価委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年 1月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年 4月 1日から施行する。

II. 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議

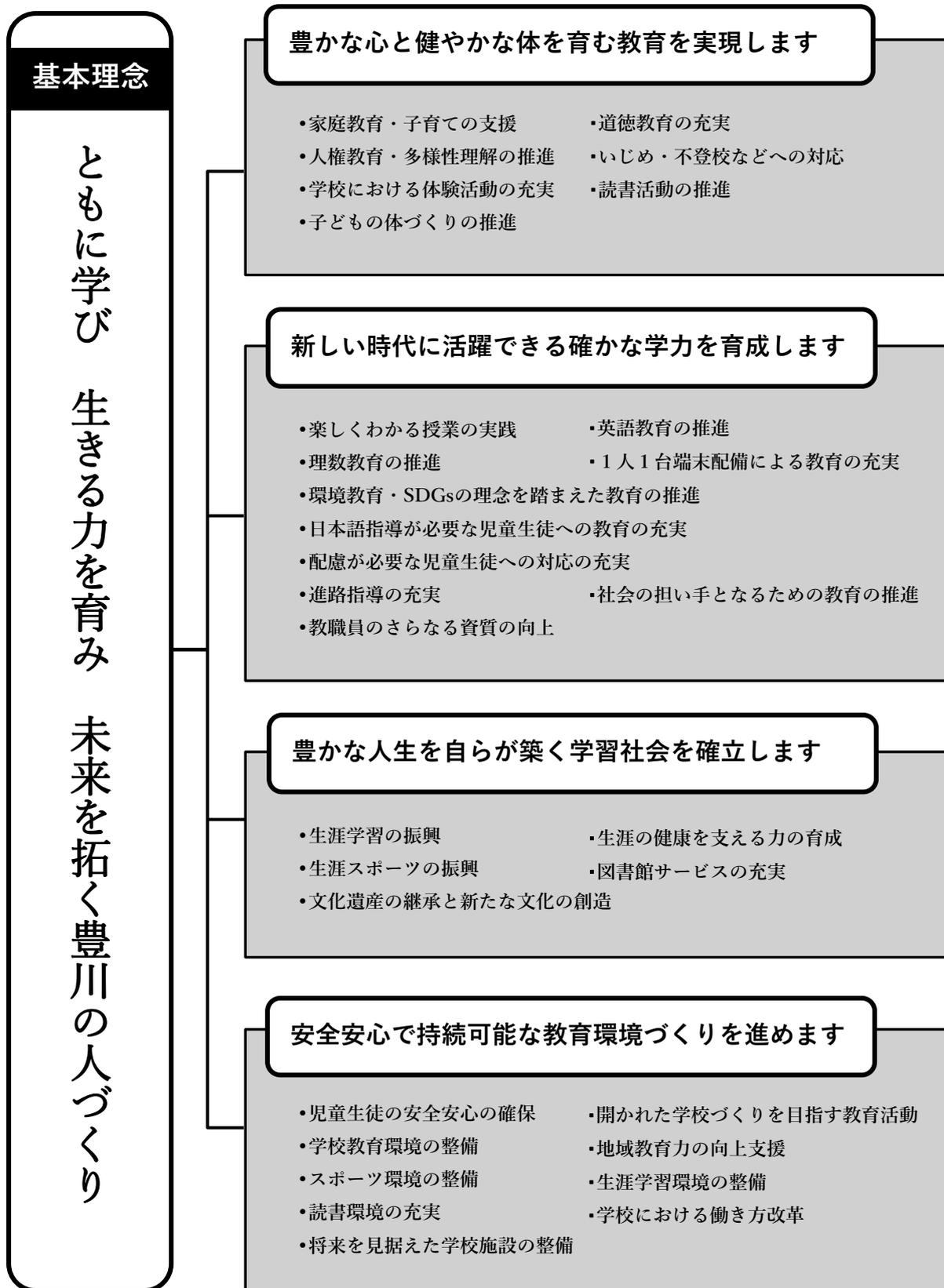
教育委員会会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、令和5年度(令和5年4月～令和6年3月)においては、次のとおり会議を開催し、審議を行いました。

開催日	議事内容	
4月定例会 令和5年4月17日	1	令和5年度における県民の日学校ホリデーについて
	2	令和4年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和5年度の組織目標について
	3	令和5年3月定例会市議会における教育問題について
5月定例会 令和5年5月30日	1	豊川市社会教育委員の委嘱について
	2	令和5年度6月補正予算について
6月定例会 令和5年6月27日	1	豊川市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
	2	台風2号による主な被害状況等について
	3	令和5年6月定例会市議会における教育問題について
	4	監査委員指摘事項及び措置状況等について
7月定例会 令和5年7月21日	1	令和6年度使用教科用図書の採択について
	2	令和5年度7月補正予算について
	3	令和4年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について
8月定例会 令和5年8月16日	1	令和4年度教育委員会決算について
	2	令和5年度9月補正予算について
9月定例会 令和5年9月26日	1	令和5年9月定例会市議会における教育問題について
10月定例会 令和5年10月24日	1	令和6年度教職員定期人事異動方針について
	2	令和4年度教育委員会事務の点検・評価報告書について
11月定例会 令和5年11月15日	1	令和5年度12月補正予算について
	2	令和6年度教育委員会予算見積書について
	3	令和6年度の給食材料費(賄材料費)の必要額(案)について
12月臨時会 令和5年12月1日	1	教職員の人事に係る内申について
12月定例会 令和5年12月19日	1	豊川市教育委員会会議規則の一部改正について
	2	令和5年度12月補正予算について

1月定例会 令和6年1月19日	1	令和6年度における県民の日学校ホリデーについて
	2	教育委員会委員の報酬額改定について
	3	豊川市文化財保存活用地域計画（案）について
2月定例会 令和6年2月13日	1	令和6年度当初予算について
	2	令和5年度3月補正予算について
	3	社会教育審議会への諮問事項について
	4	文化財保護審議会への諮問事項について
3月臨時会 令和6年3月14日	1	令和6年度教職員の人事異動について
3月定例会 令和6年3月19日	1	令和6年度教育委員会職員の人事異動について
	2	豊川市教育委員会傍聴規則の一部改正について
	3	豊川市社会教育審議会の答申について
	4	豊川市文化財保護審議会委員の委嘱について
	5	萩小学校複式編制回避検討委員会による検討結果について

2 第3期豊川市教育振興基本計画体系

令和4年3月に策定した第3期豊川市教育振興基本計画の体系は以下のとおりです。



III. 点検・評価

1 自己評価の見方

第3期豊川市教育振興基本計画に掲げる施策別の主な取組について、主管課において業務点検・評価(自己評価)を行いました。

また、評価結果を踏まえ、今後の方向性を「**拡充**」「**継続**」「**見直し**」「**廃止**」「**完了**」の5段階で記載しています。

施策⑦
配慮が必要な児童生徒への対応の充実

児童生徒が自分の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていくために必要な力を身につけられるよう、必要な配慮や支援を充実していきます。

主な取組と自己評価	個別シートの掲載ページ	自己評価
1 <学校教育課> 特別支援教育の充実		B 継続
2 <学校教育課> 特別支援教育支援員の配置		B 継続
3 <学校教育課> 学級運営支援員の拡充	⇒ 【P22】	B 拡充
4 <学校教育課> 就学援助の実施		C 継続

目標指数	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
学級運営指導員の人数 [学校教育課実績より]	79人	89人	95人			94人

※アンケート未実施等により、R5 値が不明な場合は「-」としています。

自己評価基準

自己評価	評価内容
A	期待を上回る成果を上げた
B	期待通りの成果を上げた
C	概ね期待通りの成果を上げた
D	あまり成果を上げられなかった
E	成果を上げられなかった

※事業が未実施であった取組については「-」としています。

2 選定事業及び外部評価

計画内に掲げる107事業のうち、令和5年度に実施した106事業から、各課が選定した12事業について、個別シートを作成し、実施内容や今後の課題や見直し点などについて記載しました。

また、学識経験者の方から「**良好**」「**概ね良好**」「**要改善**」のいずれかの評価を受けるとともに、取組全体についての意見等(外部評価)をいただきました。

※個別シートの「今後の展開」区分については、自己評価の「今後の方向性」と共通表現となっています。

3 評価の結果

自己評価結果

A	B	C	D	E	—	計
0	95	11	0	0	1	107
0.0%	89.6%	10.4%	0.0%	0.0%	—	

今後の方向性

拡充	継続	見直し	廃止	完了	計
5	101	0	1	0	107
4.7%	94.4%	0.0%	0.9%	0.0%	

選定事業及び外部評価

基本目標	事業名	自己評価	外部評価
基本目標2	学級運営支援員の拡充	B	良好
基本目標3	ジオスペース館を有効活用した学習支援と情報発信	B	良好
基本目標3	地域とつながる食育の推進	B	良好
基本目標3	スポーツイベントの開催支援	C	概ね良好
基本目標3	「図書館まつり」や「図書館検定」などのイベントの実施	B	良好
基本目標3	文化遺産の保護・活用の環境づくり	B	良好
基本目標4	部活動の外部講師の活用	B	良好
基本目標4	老朽校舎などの計画的な整備	B	良好
基本目標4	学習環境の整備	B	良好
基本目標4	学校給食施設の長寿命化と適正な管理	B	良好
基本目標4	スポーツ施設の整備	B	良好
基本目標4	生涯学習施設の活用	B	良好

4 自己評価及び目標指標の状況

基本目標 1

豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します

自己肯定感を高めるとともに、家庭や地域などとの連携の中で自分と他者をともに大切にできる心を育むことや、自分の健康について主体的に考え健康の保持増進の基礎をつちかうことが重要です。

そのため、地域社会との様々な関わりの中で、他者を思いやり自分の行動を見つめ直す活動を充実させるとともに、体力や運動能力の向上に向けた取組を行います。

施策① 家庭教育・子育ての支援

家庭教育や子育てに関する支援・相談や情報提供を実施するとともに、保護者と子どもが家族のつながりを強め、家庭の教育機能が高められるよう、地域との連携による取組を支援していきます。

主な取組と自己評価

1	《生涯学習課》 家庭教育活動の支援	B	継続
2	《生涯学習課》 親子参加の講座などの開催	B	継続
3	《学校教育課》 幼児教育研究会の開催	C	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
「子どもを生み、育てる環境」市民満足度 [豊川市市民意識調査より]	50.2%	—	57.2%			60.0%

施策② 道徳教育の充実

児童生徒が社会生活に必要な常識やマナーを身につけ、豊かな心を育めるよう、家庭や地域との連携、協力体制を構築するとともに、「特別の教科道徳」を核として、学校の教育活動全体において道徳教育を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 「特別の教科道徳」を核にした道徳教育の推進	B	継続
2	《学校教育課》 家庭・地域・学校の連携による開かれた道徳教育の推進	B	継続
3	《学校教育課》 体験活動を通じた道徳性の育成	B	継続

施策③ 人権教育・多様性理解の推進

性別や障害の有無、社会的出身や国籍、人種や民族などによって、差別的な取り扱いを受けることがないよう、一人ひとりの個性と文化を尊重し、多様性を認め合う人権教育を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 豊川市小中学校人権教育研究会の充実	B	継続
2	《学校教育課》 教育活動全体を通して行う人権教育・多様性理解の推進	B	継続
3	《学校教育課》 人権に関する講座・研修会への教職員の参加	B	継続

施策④ いじめ・不登校などへの対応

学校や家庭、関係機関で連携し、いじめ・不登校などの未然防止や早期発見、早期対応のための取組を強化していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 早期発見・早期対応に向けた取組の推進	B	拡充
2	《学校教育課》 臨床心理士などによる教育相談の充実	C	拡充
3	《学校教育課》 豊川市不登校対策委員会の取組の推進	B	継続
4	《学校教育課》 適応指導教室「さくらんぼ」における支援	B	継続

施策⑤ 学校における体験活動の充実

児童生徒が生きる力や豊かな心を育むとともに、表現力や創造力を高められるよう、学校における体験活動の機会を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 異年齢との交流活動の実施	B	継続
2	《学校教育課》 人や社会との関わり方を考える体験活動の実施	B	継続
3	《学校教育課》 文化的行事・宿泊的行事の実施	B	継続
4	《学校教育課》 ふるさと教育の推進	B	継続

施策②～⑤の目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
学校生活が楽しく充実していたと自己評価した児童生徒の割合 [学校教育課アンケートより]	75.9%	76.7%	77.6%			78.0%

施策⑥**読書活動の推進**

あらゆる方法や場所を活用し、子どもたちが進んで本を読む習慣、本を通じて物事を調べる習慣を身につけられるよう、様々な読書活動を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	読書活動の実施	C	継続
2	《学校教育課》	学校図書館巡回司書の配置	B	継続
3	《中央図書館》	「マイブックプロジェクト」の推進	B	継続
4	《中央図書館》	子ども読書活動の推進	B	継続
5	《中央図書館》	「うち読」の普及・啓発の推進	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
「読書好き」な子どもの割合 [中央図書館アンケートより]	61.1%	61.1%	—			65.0%

施策⑦**子どもの体づくりの推進**

子どもたちが体を動かす楽しさを実感したり、食について関心を持ったりすることに加え、健康の大切さを学ぶ機会を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	学校体育の充実	B	継続
2	《スポーツ課 生涯学習課》	地域における子どものスポーツ活動への支援	C	継続
3	《学校教育課》	生活習慣病予防の推進	B	継続
4	《学校給食課 学校教育課》	食に関する指導の充実	B	継続
5	《学校教育課》	学校保健の充実	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
運動が好きな児童生徒の割合 [庶務課アンケートより]	[小6] 63.1% [中2] 60.8%	—	—			[小6] 65.6% [中2] 63.3%
朝食を食べない児童生徒の割合 [学校給食課アンケートより]	[小5] 2.4% [中2] 7.8%	[小5] 2.1% [中2] 6.0%	[小5] 1.3% [中2] 8.1%			[小6] 0% [中2] 0%

基本目標 2

新しい時代に活躍できる確かな学力を育成します

超スマート社会（Society 5.0）の到来や、グローバル化が一層進展する中、子どもたちが新たな時代の担い手として、変化を前向きに受け止め、予測困難な時代を自立的に生きていく資質・能力を育てることが重要です。

そのため、多様な教育課題へのきめ細かな対応を進め、子どもたち一人ひとりの状況や適性に応じた教育を行います。

施策① 楽しくわかる授業の実践

児童生徒が主体的な学習活動により基礎的な知識や技能を確実に身につけられるよう、楽しくわかる授業を実践していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 主体的・対話的で深い学びの推進	B	継続
2	《学校教育課》 きめ細かな指導の推進	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
学習に意欲的に取り組んだと自己評価した児童生徒の割合 [学校教育課アンケートより]	60.0%	62.7%	63.4%			68.0%

施策② 英語教育の推進

児童生徒が積極的に英語で話す姿勢を育ていけるよう、英語によるコミュニケーションの機会を充実させた英語教育を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 英語指導助手の配置	B	継続
2	《学校教育課》 英語力向上へ向けた活動の推進	C	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
AETの先生と楽しく英語を使った活動ができた児童生徒の割合 [学校教育課アンケートより]	[小6] 61.9% [中3] 61.9%	[小6]61.9% [中3]59.0%	[小6]62.0% [中3]59.0%			[小6] 64.4% [中3] 64.4%

施策③

理数教育の推進

児童生徒が科学技術の素晴らしさを実感し、科学的な見方や考え方を楽しみながら身につけ、創造力を高められるような理数教育を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	理数教科への関心を高める授業の実施	B	継続
2	《学校教育課》	理科教育支援員の配置	B	継続
3	《生涯学習課》	子どもものづくり教室の支援	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
理科を好きな児童生徒の割合 [庶務課アンケートより]	[小6] 36.6% [中2] 29.0%	—	—			[小6] 39.1% [中2] 31.5%
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
算数(数学)を好きな児童生徒の割合 [庶務課アンケートより]	[小6] 40.2% [中2] 22.2%	—	—			[小6] 42.7% [中2] 24.7%

施策④

1人1台端末配備による教育の充実

児童生徒がICT機器や情報を活用する能力を身につけることに加え、適切に情報を取り扱う方法を学べるような情報教育を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	ICTの活用による個別最適な学びと協働学習の推進	B	継続
2	《学校教育課》	デジタル教科書・教材を活用した授業の実施	B	継続
3	《生涯学習課》 《学校教育課》	情報モラル教育の推進	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
ICT機器を活用した学習指導に取り組む学校の割合	[小学]	[小学]				[小学]
①教職員と児童生徒のやりとりで活用	①12.0%	①76.9%				①100%
②児童生徒同士のやりとりで活用	②4.0%	②76.9%				②100%
③児童生徒が一人で活用	③60.0%	③100%	—			③100%
[全国学力・学習状況調査より]	[中学]	[中学]				[中学]
	①0%	①80.0%				①100%
	②0%	②60.0%				②100%
	③0%	③100%				③100%

施策⑤

環境教育・SDGsの理念を踏まえた教育の推進

児童生徒の環境保全に対する意識を高めるとともに、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現に向けて、SDGsの理念を踏まえた学習活動を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 身近な地域の環境を守る環境学習	B	継続
2	《学校教育課》 SDGsの理念を取り入れた学習活動の推進	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
ESDの視点に立った学習活動に取り組む学校の割合 [学校教育課調査より]	[小学] 100% [中学] 100%	[小学]100% [中学]100%	[小学]100% [中学]100%			[小学] 100% [中学] 100%

施策⑥

日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実

外国人の児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、日本語の初期指導を重視し、学年や能力に合わせた段階的・系統的な教育を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 日本語指導が必要な児童生徒への日本語教育の実施	B	継続
2	《学校教育課》 日本語指導助手の配置	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
日本語指導助手の人数 [学校教育課実績より]	11人	11人	12人			12人

施策⑦

配慮が必要な児童生徒への対応の充実

児童生徒が自分の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていくために必要な力を身につけられるよう、必要な配慮や支援を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 特別支援教育の充実	B	継続
2	《学校教育課》 特別支援教育支援員の配置	B	継続
3	《学校教育課》 学級運営支援員の拡充 ⇒ 【P22】	B	拡充
4	《学校教育課》 就学援助の実施	C	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
学級運営指導員の人数 [学校教育課実績より]	79人	89人	95人			94人

施策⑧

進路指導の充実

児童生徒の一人ひとりのニーズに対応できる指導体制を築くとともに、学校や家庭だけでなく、地元高校生や地域企業と連携した進路指導を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 キャリアパスポートを活用したキャリア教育の実施	B	継続
2	《学校教育課》 働くことへの意義を体感する職場体験学習の実施	B	継続
3	《学校教育課》 地元高校生・地域企業との連携強化	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
将来の夢や目標がある児童生徒の割合 [全国学力・学習状況調査より]	[小学] 80.0% [中学] 63.7%	[小学]79.5% [中学]65.3%	[小学]79.8% [中学]63.3%			[小学] 90.0% [中学] 73.7%

施策⑨

社会の担い手となるための教育の推進

多様な観点からのニーズに対応した学習機会の提供を行い、児童生徒が社会の担い手となるための教育を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 主権者教育の推進	B	継続
2	《学校教育課》 小学校プログラミング教育の実施	B	継続
3	《学校教育課》 科学や技術に興味を持つ児童生徒の育成	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている児童生徒の割合 [全国学力・学習状況調査より]	[小学] 48.0% [中学] 37.9%	[小学]47.3% [中学]33.2%	[小学]76.9% [中学]58.0%			[小学] 58.0% [中学] 73.7%

施策⑩

教職員のさらなる資質の向上

教職員のさらなる資質の向上を支援するため、経験年齢や課題などに応じた効果的な研修を計画的に進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 教職員研修の充実	C	継続
2	《学校教育課》 教職員国内研修派遣の実施	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
各種研修に参加した教職員数 [学校教育課実績より]	約500人	約500人	約500人			約1,700人

豊かな人生を自らが築く学習社会を確立します

人口減少や少子高齢化が進行していく中、人生100年時代を迎えようとしています。その中で、ライフステージに応じた学習機会の確保や学習成果の地域への還元が課題です。

そのため、すべての人々が生涯にわたって学び、活躍できるように、学習活動や文化・芸術・スポーツ活動などに参加するきっかけづくりを支援します。

施策① 生涯学習の振興

多くの市民が生涯にわたる学習活動に親しみ、生きがいを持って心豊かに暮らしていけるよう、主体的な生涯学習活動を支援していきます。

主な取組と自己評価

1	《生涯学習課》 多様なニーズに対応した学習メニューの展開	B	継続
2	《生涯学習課》 学びを広げる学習情報・学習機会の充実	B	継続
3	《生涯学習課》 学習成果の発表・活用による人材育成	B	継続
4	《生涯学習課》 学習成果が生きるまちづくりの支援	B	継続
5	《中央図書館》 ジオスペース館を有効活用した学習支援と情報発信	⇒ 【P23】 B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
生涯学習活動を行っている市民の割合 [豊川市市民意識調査より]	58.1%	—	58.6%			65.0%
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
プラネタリウムの入場者数 [中央図書館実績より]	5,000人	8,823人	10,693人			13,000人

施策② 生涯の健康を支える力の育成

子どもから大人まですべての市民が、病気予防や食育に関心を持って健やかに暮らせるよう、生涯にわたって健康を支える力の育成を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《学校給食課》 地域とつながる食育の推進	⇒ 【P24】	B	継続
2	《学校教育課》 喫煙・飲酒・薬物乱用の防止		B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている市民の割合 [豊川市市民意識調査より]	49.1%	—	50.5%			50.0%

施策③ 生涯スポーツの振興

多くの市民がスポーツを楽しみ、健康的で活力のある生活を送ることができるよう、生涯スポーツを振興させる取組を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《スポーツ課》 地域スポーツの推進		B	継続
2	《スポーツ課》 スポーツイベントの開催支援	⇒ 【P25】	C	継続
3	《スポーツ課》 スポーツ選手・団体への活動支援		B	拡充
4	《スポーツ課》 トップレベルに触れる機会の充実		B	継続
5	《スポーツ課》 スポーツツーリズムの推進		－	廃止

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
週1回以上スポーツや運動をしている市民の割合 [豊川市市民意識調査より]	49.9%	－	47.8%			57.0%

施策④ 図書館サービスの充実

多くの市民が図書館に関心を持ち、有効に活用できるよう、図書館サービスを充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《中央図書館》 図書館資料の充実		B	継続
2	《中央図書館》 コラボ展示・コラボイベントの実施		B	継続
3	《中央図書館》 電子図書館サービスの充実		B	継続
4	《中央図書館》 図書館体験会の実施		B	継続
5	《中央図書館》 「図書館まつり」や「図書館検定」などのイベントの実施	⇒ 【P26】	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
市民1人当たりの図書等貸出冊数 [中央図書館実績より]	5.0冊	5.7冊	5.6冊			7.1冊
目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
電子書籍の利用回数 [中央図書館実績より]	24,252冊	19,186冊	17,690冊			25,000冊

施策⑤ 文化遺産の継承と新たな文化の創造

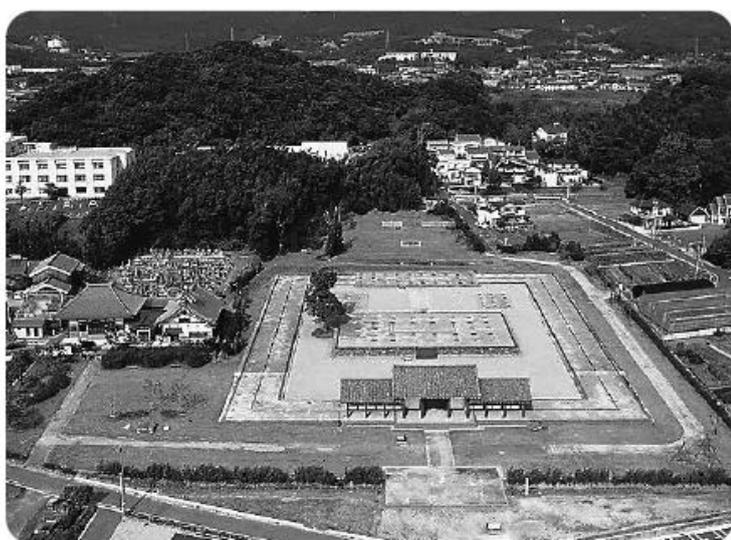
多くの市民が地域の伝統的な文化を尊重するとともに、新しい文化を生み出せるよう、身近な文化芸術活動を支援していきます。

主な取組と自己評価

1	《生涯学習課》	文化遺産の保護・活用の環境づくり	⇒ 【 P27 】	B	継続
2	《生涯学習課》	文化遺産継承の取組の推進		B	継続
3	《生涯学習課》 《学校教育課》	平和学習の推進		B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
文化財保護の推進に満足している市民の割合 [庶務課アンケートより]	27.3%	—	—			29.8%



三河国分尼寺跡史跡公園



豊川海軍工廠平和公園（第一火薬庫）

安全安心で持続可能な教育環境づくりを進めます

社会や経済の情勢は大きく変化し、教育に求められるニーズが日々、多様化・複雑化する中、学校教育環境を充実させるとともに、あらゆる世代の人々がスポーツや生涯学習、読書などに親しむ環境を整備することが求められています。

そのため、学校をはじめとした教育環境を充実させ、魅力ある取組を展開していくとともに、次世代を担う子どもたちのため、安全安心に学べる教育環境を将来にわたって確保します。

施策① 児童生徒の安全安心の確保

児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、また、保護者が安心して子どもを託すことができるよう、家庭や地域、警察などの関係機関と連携しながら、学校教育の安全安心を確保していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 防犯教育の推進、教職員の防犯意識の向上	B	継続
2	《学校教育課》 交通安全教育の推進	B	継続
3	《学校教育課》 通学路の安全管理への取組	B	継続
4	《学校教育課》 学校安全緊急情報共有化広域ネットワークの活用	B	継続
5	《庶務課》 防犯・防災設備の充実	B	継続
6	《学校給食課》 学校給食における衛生・安全管理の徹底	B	継続
7	《学校教育課》 学校生活における新しい生活様式の実践による感染防止意識の向上	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
児童生徒の安心安全の確保に満足している市民の割合 [庶務課アンケートより]	44.6%	—	—			47.1%
目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
「学校給食」児童生徒満足度 [学校給食課アンケートより]	61.2%	66.2%	68.5%			70.0%

施策② 開かれた学校づくりを目指す教育活動

学校と保護者、地域がともに学びながらそれぞれの役割を果たし、連携して児童生徒の成長を支えていくよう、開かれた学校づくりを目指した教育活動を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	特色ある学校づくりの推進	B	継続
2	《学校教育課》	開かれた学校づくり	B	継続
3	《学校教育課》	学校からの情報発信	B	継続
4	《庶務課》	学校サポーターによる学校支援	B	継続
5	《学校教育課》	学校評価の公表	B	継続
6	《学校教育課》	部活動の外部講師の活用	⇒ 【 P28 】	B 拡充

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
「学校とかかわりを持っていきたい」と思っている市民の割合 [豊川市市民意識調査より]	49.2%	—	48.3%			49.3%
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
学校サポーター登録者数 [庶務課実績より]	699人	742人	777人			750人

施策③ 学校教育環境の整備

児童生徒が楽しく充実した学校生活を送れるよう、学校教育環境の整備を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《庶務課》	老朽校舎などの計画的な整備	⇒ 【 P29 】	B	継続
2	《庶務課》	学習環境の整備	⇒ 【 P30 】	B	継続
3	《庶務課》 《学校教育課》	教育用 I C T 機器などの適切な運用管理		B	継続
4	《庶務課》	学校図書の充実		B	継続
5	《学校給食課》	学校給食施設の長寿命化と適正な管理	⇒ 【 P31 】	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
学校教育環境などの整備・充実に満足している市民の割合 [庶務課アンケートより]	31.5%	—	—			34.0%
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
屋内運動場トイレの洋式化率 [庶務課実績より]	14.1%	14.1%	49.3%			100%

施策④ 地域教育力の向上支援

子どもや若者が地域の中で、様々な体験を通じて生き生きと成長していけるよう、地域教育力の向上を支援していきます。

主な取組と自己評価

1	《生涯学習課》 地域人材の活用による交流活動や体験活動などの充実	B	継続
2	《生涯学習課》 子ども・若者への各種支援	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
「青少年の育成・支援」市民満足度 [豊川市市民意識調査より]	29.6%	—	32.6%			32.0%
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
少年愛護センターにおける相談支援件数 [生涯学習課実績より]	204件	310件	285件			450件

施策⑤ スポーツ環境の整備

多くの市民が安心してスポーツやレクリエーション活動に親しめるよう、スポーツ環境の整備を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《スポーツ課》 スポーツ施設の整備	⇒ 【P32】	B	継続
2	《スポーツ課》 スポーツ施設の適正な管理運営		B	継続
3	《スポーツ課》 学校施設の開放推進		B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
スポーツ施設の利用者数 [スポーツ課実績より]	664,203人	1,096,591人	1,316,275人			1,240,000人
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
学校体育施設開放の利用者数 [スポーツ課実績より]	251,815人	324,322人	343,154人			450,000人

施策⑥ 生涯学習環境の整備

多くの市民が身近な場所で、内容の充実した生涯学習に親しめるよう、生涯学習環境の整備を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《生涯学習課》 生涯学習施設の活用	⇒ 【P33】	B	継続
2	《生涯学習課》 高等教育機関との連携		B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
生涯学習センターの利用者数 [生涯学習課実績より]	136,149人	199,763人	217,542人			245,000人

施策⑦

読書環境の充実

多くの市民が気軽に本を手に取り、進んで読書に親しめるよう、図書館を拠点とする読書環境を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《中央図書館》	図書館と学校などとの連携強化の推進	B	継続
2	《中央図書館》	図書館施設などの整備	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
図書館の来館者数 [中央図書館実績より]	585,052人	587,301人	625,383人			631,000人

施策⑧

学校における働き方改革

児童生徒のためにも、教職員が心身ともに健康な状態で、教育活動に専念できるよう、学校における働き方改革を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課 庶務課》	ICT機器・校務支援システムの有効活用	B	継続
2	《学校教育課 庶務課》	専門スタッフ・地域人材などとの連携・分担による業務の削減	B	継続
3	《学校教育課 スポーツ課 生涯学習課》	休日部活動の地域移行への検討	C	継続
4	《学校教育課》	文化事業の開催方法などの見直し	B	継続
5	《学校教育課》	教職員のメンタルヘルス維持への取組	C	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
時間外在校等時間が月45時間以内の教職員数の割合 [学校教育課調査より]	47.7%	39.5%	65.9%			100%

施策⑨

将来を見据えた学校施設の整備

将来にわたって子どもたちの「生きる力」を育むことができるよう、施設の整備を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《庶務課》	複式編制回避に向けた小規模校の支援	C	継続
2	《庶務課》	35人学級への対応	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
35人学級実施への対応率 [庶務課実績より]	100%	100%	100%			100%

3 学級運営支援員の拡充

【学校教育課】

安定した学級運営を支えるため、個別の支援を必要とする児童生徒がいる学級への学級運営支援員を増員し、個別的な指導やティームティーチング指導を実施します。

令和5年度決算額 77,354千円

実施状況と成果

自己評価：B

学級運営支援員の拡充

- 令和5年度は、4月配置支援員を小学校26校に1名ずつと、大規模小学校10校に個別支援員を配置したことで、学級の安定したスタートにつなげることができた。その後6月配置に向けて、90学級からの要請があり、視察の結果、実際に配置できたのは36学級であった。
- 学校からの要望を受けて、学級運営支援員を配置した結果、派遣された学校からは、「発達障害のある児童生徒が落ち着いて授業を受けることができるようになった」、「学級全体が落ち着いて授業を受けることができるようになった」などの報告があった。

【学級運営支援員の配置人数】 (人)

	R3	R4	R5
学級支援員	5	5	5
個別支援員	79	84	90

自己評価と今後の展開

- 拡充 令和3年度は177学級、令和4年度は176学級、令和5年度は208学級から要望があった。学校からの配置要望に対し、ここ数年の充足率は40%台である。また、発達障害を抱える子どもは変化に弱い傾向にあるために、6月から任用していた支援員を4月に前倒しするようにし、学級スタート時のフォローに重点を置くような策としている。雇用時間の問題から、人員の確保が重要となる。
- 継続
- 見直し
- 廃止
- 完了

点検評価委員の評価及び意見等

 良好
 概ね良好
 要改善

限られた人数枠を柔軟かつ効果的に運用し、支援員を4月から配置したことで学級スタート時の学級運営がスムーズに行われたことは、児童生徒にとっても非常に良いことであり、高く評価する。一方で、ここ数年175学級前後であった支援員の配置要望数が、令和5年度は200学級を超えている。制度の土台となる支援員の確保等、更なる支援の拡充を願う。

5 ジオスペース館を有効活用した学習支援と情報発信【中央図書館】

市民の天文への関心を高め、宇宙に関する学習活動を支援するためのプラネタリウム番組を上映します。また、プラネタリウムの有効活用を図るため、施設の貸館の促進、市の各部署や関係団体とのコラボイベントの実施や、PR 動画などを投影し情報発信を行います。（総合計画実施計画事業）

令和5年度決算額 3,487千円

実施状況と成果

自己評価：B

プラネタリウム有効活用事業

- 市制施行80周年記念事業として、本市と宇宙との関わりを描いたプラネタリウム番組「Lights of Toyokawa 豊川から宇宙へ」の一般上映を令和5年5月から行い、老若男女を問わず、幅広い世代の方から高評価を得ることができた。
- 過去に上映した子供向けプラネタリウム番組の再上映を行い、入場者数の増加及び経費節減につなげることができた。また、小学4年生を対象に行う学習投影事業において上映する新番組（令和6年度）の選定、制作を市内小中学校理科教科指導員の協力のもと行い、児童の学習機会の提供に寄与することができた。
- プラネタリウム上映前の時間を利用し、市制施行80周年記念ソング「豊川、豊か」のミュージックビデオや地元プロバスケットボールチームのPR動画を上映し、他事業や地域との連携を図った。

自己評価と今後の展開

- 拡 充 令和5年度は、市制施行80周年記念事業、プラネタリウム機器更新リニューアルオープン
- 継 続 に関連した事業の実施もあり、入場者数対前年度比21.2%増の成果を上げることができ
- 見直し た。当面は大きなプラネタリウム関連事業を行う予定はないが、今後の集客の維持、増加のため、定額制番組導入を含めた番組選定方法の検討を行っていく。また、他事業とのコラボイベ
- 廃 止
- 完 了 ントも継続して行う。

点検評価委員の評価及び意見等

■ 良好 □ 概ね良好 □ 要改善

市制施行80周年に合わせ、限られた予算の中で良質な番組やプログラムを創出し、市民のみならず、市外の方々にもジオスペース館を周知できたことは大いに評価する。
今回のコラボ企画などを一過性のものとせず、今後は他団体とのコラボ動画の作成なども視野に入れ、市民の幅広い興味関心に応えるべく研究していただきたい。

1 地域とつながる食育の推進

【学校給食課】

児童生徒が地域食材の生産、流通への理解を深めながら「食」への関心を高められるよう、学校給食において「豊川産〇〇の日」の実施や地元産農産物の積極的使用など地産地消を推進します。また、児童生徒の参加による「地場産物を使用した学校給食献立コンクール」の開催を通じて、家庭での食育につながる取組を進めます。

令和5年度決算額 144千円

実施状況と成果

自己評価：B

「豊川産〇〇の日」のイベント給食の実施等による地産地消の推進

令和5年度決算額

93千円

- 「豊川産〇〇の日」のイベント給食は38回（14品目）実施した。
- 令和5年6月23日（金）に実施した市制80周年記念給食では、新たな地元食材として「いちごあんの水まんじゅう」を提供するとともに市制80周年記念給食の啓発チラシを作成し、児童生徒に配布した。
- 令和6年1月の「全国学校給食週間」には、学校給食献立コンクールの優秀作品を提供した。また、御油小学校にて、青じそ生産者を講師として招き、一緒に会食することで生産者との交流を図るとともに、栽培方法や収穫等、地域生産物についての理解を深める給食を実施した。

【「豊川産〇〇の日」イベント給食】

	R3	R4	R5
回数	41回	46回	38回
使用品目数	12品目	14品目	14品目

【地産地消率】

	R3	R4	R5
地産地消率	12.2%	12.5%	10.7%

※食材数における豊川産の使用割合

地場産物を使用した学校給食献立コンクールの開催

令和5年度決算額

51千円

- 令和5年度も、多くの作品の応募があった。第1次審査（書類審査）、第2次審査（試食審査）の結果、最優秀賞1作品、優秀作品3作品、入選10作品と特別賞（アイデア賞・ネーミング賞等）22作品の合計36作品を表彰した。
- 優秀賞の作品レシピなどは、豊川市中央図書館にて図書館コラボ展示を実施するとともに学校給食課のホームページに掲載した。また令和5年度からイオンモール豊川でも優秀作品のレシピ等を掲示した。
- 優秀賞の4作品については1月の全国学校給食週間の献立として採用した。

【学校給食献立コンクール応募数】

	R3	R4	R5
応募作品数	694点	413点	453点

自己評価と今後の展開

- 拡 充 令和5年度は、前年度と比較し、「豊川産〇〇の日」における豊川産食材の使用品目数は14品目と変わらなかったが、使用回数が8回減少した。今後は、地産地消調整会議において、さらに豊川産や愛知県産などの地元食材をより多く使用できるよう検討していく。
 - 継 続
 - 見直し
 - 廃 止
 - 完 了
- また、平成16年度より実施している地場産物を使用した「学校給食献立コンクール」は継続的に実施するとともに、給食センターの運営に関する重要な事項について審議する学校給食センター運営委員会において、「生産農家との会食会」の回数を増やす提案を受け、課題を整理し今後検討していく。

点検評価委員の評価及び意見等

良好 概ね良好 要改善

地場産物を利用しての給食メニューの提供や、献立コンクールなどを通じ、地場産物への理解や地産地消の推進を効果的に進められている点を高く評価する。図書館でのコラボ展示、イオンモール豊川でのレシピの掲示などの広報の工夫についても評価するが、更に多くの方の目にとまるよう、市のイベントなどでの告知も検討していただきたい。

2 スポーツイベントの開催支援

【スポーツ課】

豊川リレーマラソンやトヨカワシティマラソン大会においてゲストランナーを招聘するなどし、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげていくためにスポーツイベントの開催支援を行います。（総合計画実施計画事業）

令和5年度決算額 6,139千円

実施状況と成果

自己評価：C

スポーツイベントの開催支援事業（実）

令和5年度決算額 6,139千円

- トヨカワシティマラソン大会や豊川リレーマラソンにおいて、市制80周年として例年以上に著名なゲストランナーの招聘等、大会の魅力向上を図ることで、市内外から多くの参加者が集まった。
- ボランティア協力を募集することで、市民のイベントへの関わり方を創出するとともに、安心安全な大会運営につながった。
- 会場周辺でのブース出展の充実に努め、更なる賑わい創出や地域経済の活性化を行うことができた。

【R5スポーツイベントの開催支援】 (人)

	当日参加者	ボランティア数
リレーマラソン	2,782	71
シティマラソン	1,659	290

自己評価と今後の展開

- 拡 充 豊川リレーマラソン及びトヨカワシティマラソン大会におけるゲストランナーの招聘は継続
- 継 続 し、イベントの知名度を上げて、さらなる交流人口の拡大を図っていく。
- 見直し ボランティア協力への募集については、広報を工夫し、より多くの方に参加していただける
- 廃 止 イベント作りに努めていく。
- 完 了

点検評価委員の評価及び意見等

良好 概ね良好 要改善

ゲストランナーを招聘し、スポーツイベントの知名度の向上、交流人口の拡大に繋がったことを評価する。また、出店ブースの充実に努め、賑わいを生み出したことは、「参加して楽しいイベント」との評価を更に高めたのではないかと考える。より多くの方々が楽しくイベントに参加できるような環境を整えるとともに、ボランティア募集の周知方法については、更なる工夫を期待する。

5 「図書館まつり」や「図書館検定」などのイベントの実施【中央図書館】

市民の読書や図書館への関心を高めるため、うち読講演会や、参加して体験できる手作り工作などのイベントが行われる「図書館まつり」、図書館の利用に関するマナーや来館者数などの統計情報、所蔵する本の内容や作者に関するエピソードなどを問題とする「図書館検定」を行います。

令和5年度決算額 下記のとおり

実施状況と成果

自己評価：B

図書館まつりの実施

- 令和5年度は、コロナ禍で中止していた図書館まつりを、2回（春と秋）実施した。
- 4年ぶりの開催となるため、保育園と市内小中学校にチラシを配布した。またプレスリリースを行い、市民に広く周知した。
- 図書館まつりでは、絵本パフォーマーによる読み聞かせや、豊川市出身の絵本作家かべやふよう氏によるイベント等、終日楽しめるイベントをまんべんなく企画した。館内シールラリーではすべてのイベントに参加する方もいるほど、来館者からも好評だった。

80周年記念事業 絵本とふれあう講演会・ワークショップの実施 令和5年度決算額 403千円

- 市民の読書に対する関心や親しみを深め、大人から子どもまで幅広い年齢層での読書活動の推進を図るため、全国的に名高い大人気の絵本作家鈴木のりたけ氏を講師とした「講演会」と「ワークショップ」を実施した。
- 400人分の整理券は開館30分で配布が終了した。講演会終了後、参加者からの満足という声が多く寄せられた。
- 全国の図書館・自治体等から、今でも80周年記念講演会、ワークショップ等について多くの問い合わせがある。（現在までに50件以上）

図書館検定の実施

- 市民の読書への興味や関心を高めるため、中央図書館と4分館で「図書館検定」を実施した。
- 図書館の利用に関する問題や所蔵する本の内容や作者に関するエピソードなどの中から、小学生向けの「初級」、中高生向けの「中級」、一般向けの「上級」問題を職員が作成した。解答用紙を図書館の事務室に提出した人には、参加賞を渡した。

【図書館検定参加者数】 (人)

	R3	R4	R5
初級	653	608	611
中級	385	346	368
上級	316	334	365

自己評価と今後の展開

- 拡 充 図書館まつり及び図書館検定については、参加者の満足度が高く、本への興味・関心の増加
- 継 続 といった効果が見られた。今後も本事業を継続できるよう、積極的な周知を行っていく。
- 見直し
- 廃 止
- 完 了

点検評価委員の評価及び意見等

良好 概ね良好 要改善

「図書館まつり」、「図書館検定」など、参加体験型イベントを企画実施し、市民の本への関心が深まった点は高く評価できる。また、そのようなイベントが比較的低コストで実施できたことに感心する。引き続き、市民が楽しく学べるイベントを企画し、充実した図書館になることを期待する。

1 文化遺産の保護・活用の環境づくり

【生涯学習課】

三河国分寺跡の整備を進め、古代の重要遺跡である三河国府跡の国指定を目指します。また、三河国分尼寺跡史跡公園を始め整備の完了した史跡や文化財の活用を積極的に行います。（総合計画実施計画事業）

令和5年度決算額 77,414 千円

実施状況と成果

自己評価：B

三河国府跡保存整備事業（実）

- 令和6年2月21日に、三河国府跡政庁地区が「三河国府跡」として、国の史跡に指定された。
- 次年度の公有地化に向け、三河国府跡の土地所有者と用地交渉を行い、合意を得た。

豊川市文化財保存活用地域計画（案）の作成

令和5年度決算額 3,534 千円

- 令和6年度前期認定を目指し、文化財保存活用地域計画（案）の作成を終えた。

- 令和5年7月 第3回豊川市文化財保存活用地域計画協議会 開催
- 令和5年10月 第4回豊川市文化財保存活用地域計画協議会 開催
- 令和6年2月 パブリックコメント（意見募集）
- 令和6年3月 第5回豊川市文化財保存活用地域計画協議会 開催

文化財施設の活用

- 各文化財施設にて、町内会や小中等高等学校と連携し、下記のとおりイベントを開催した。
 - 三河国分尼寺跡史跡公園：「天平ロマンの夕べ」
 - 豊川海軍工廠平和公園：「開園5周年事業シンポジウム」、「折り鶴に平和の祈りを」他
 - 大橋屋（旧旅籠鯉屋）：「はたごdeあそぼう！」
- 各文化財施設にて、ボランティアガイド、歴史講座、体験教室等を実施した。
- 三河国分尼寺跡史跡公園ボランティアガイド養成講座を開催し、新たに9名の登録があった。

自己評価と今後の展開

- 拡 充 令和5年度は三河国府跡が国指定史跡となり、古代の三河の主要な史跡が三点揃ったこと
- 継 続 や、本市の文化財行政の指針となる文化財保存活用地域計画（案）を作成したことにより、文
- 見直し 化財の保存・活用に向けた進捗が図られた。
- 廃 止 文化財を未来に伝えていくための担い手不足が課題であり、今後は三河国府跡の公有地化を進
- 完 了 めるとともに、地域、学校、所有者等と連携した文化財の保存・活用の取り組みを継続して進める。

点検評価委員の評価及び意見等

■ 良好 □ 概ね良好 □ 要改善

「三河国府跡」の国指定史跡達成への取組努力、「文化財保存活用地域計画（案）」の作成など、文化財の保存・活用事業が進められている点を高く評価する。各文化財施設のイベントが充実する事により市民の関心度が高まり、郷土への理解・愛着が育まれ、文化遺産を大切に思う心が次世代へつながることを期待したい。

6 部活動の外部講師の活用

【学校教育課】

生徒の部活動に対する意欲をより高めるため、各中学校における部活動の実情に応じて専門的な技術指導ができる地域の指導者を招き、顧問の教職員の指導を支援することで、地域との連携による部活動の活性化に取り組みます。（総合計画実施計画事業）

令和5年度決算額 2,727千円

実施状況と成果

自己評価：B

部活動の外部講師の活用

- 市内10中学校に対し、運動部26名、文化部3名の外部指導者を配置した。
- 内訳は、運動部は8種目、文化部については吹奏楽部に2校、美術部に1校であった。
- 外部指導者は学校における部活動顧問となった教員が担当種目の専門性がない場合、技術指導を行うものである。部活動所属生徒からは「専門的な指導を受けることができ、自らの競技に対する技術が向上した。」という声も聞かれている。顧問からも「生徒の能力や特性を掌握し、技術的な指導を行ってくれてとても助かっている。」という感想がある。

【中学校部活動外部指導者の配置人数】 (人)

	R3	R4	R5
運動部	23	26	26
文化部	2	3	3

自己評価と今後の展開

- 拡充 学校現場からは毎年、外部指導者の配置希望に定員を超える希望がある。令和5年度については30人の枠に対し10校から31人の希望があった。引き続き、外部指導者の採用を行い、豊川市内における運動、文化的な部活動に携わっていただける人材を確保し、なるべく休日部活動地域連携に向けた指導者の確保に努める。また、実際の状況を考慮し、指導者の1回あたりの時間を2時間から3時間に拡充する。さらに、人員増も目指していく。
- 継続
- 見直し
- 廃止
- 完了

点検評価委員の評価及び意見等

■ 良好 概ね良好 要改善

外部講師による専門的な技術指導は、児童生徒の部活動への活動意欲や向上心を高めるのみならず、顧問教師の負担軽減のためにも非常に重要である。現状において生徒・教師から好意的な意見を得ていることを評価する一方、今後の地域連携の更なる強化を見据え、講師の総枠の拡大や、顧問教師との関わり方、適切な役割分担など、効果的な運用に向け、研究を重ね、地域の人材を確保していただきたい。

1 老朽校舎などの計画的な整備 【庶務課】

児童生徒が安全な環境の中で、安心して学校生活を送ることができるよう、老朽化した校舎の使用目標30年程度の長寿命化を図るための大規模改修や外壁改修などの整備を計画的に進めます。（総合計画実施計画事業）

令和5年度決算額 下記のとおり

実施状況と成果 自己評価：B

校舎改修等事業

令和5年度決算額 1,091,364千円

- 令和5年度は以下のとおり改修事業を行った。

- 三蔵子小学校校舎改修事業（実）：
北校舎、中校舎の大規模改修工事の完了
- 御津北部小学校校舎改修事業（実）：
校舎の大規模改修工事の完了
- 小坂井中学校校舎改築等事業（実）：基本計画改訂の実施

【事業別決算額】		(千円)		
	R3	R4	R5	
三蔵子小学校	28,857	31,108	815,662	
御津北部小学校	10,120	9,790	268,959	
小坂井中学校	-	-	6,743	

校舎外壁等改修事業

令和5年度決算額 242,277千円

- 千両小学校及び赤坂小学校の外壁等改修工事及び外壁調査（2校）を実施した。
- 工事を実施するにあたり、学校行事や学校生活への影響が最小限になるよう、学校側と十分な調整を行い、大きな問題もなく実施することができた。

自己評価と今後の展開

- 拡 充
 - 継 続
 - 見直し
 - 廃 止
 - 完 了
- 令和5年度は御津北部小学校及び三蔵子小学校北・中校舎の大規模改修工事を実施し、児童たちが安全安心な学校生活を送るための環境改善で成果を上げることができた。令和6年度は、三蔵子小学校南校舎の大規模改修工事及び長沢小学校の校舎外壁等改修工事を予定している。今後も長寿命化のための大規模改修をはじめ、劣化調査に基づいた計画的な施設整備を進める。

点検評価委員の評価及び意見等 ■ 良好 □ 概ね良好 □ 要改善

昨今の豪雨や地震等、施設にかかる負荷は予想を超えるものがあると考え。日常的な点検と柔軟かつ即時的な対応を期待したい。大規模災害に備え、老朽化校舎の早急な改修は急務である。継続して学校側と調整しながら工事を進めていただき、児童生徒が安心安全に過ごすことができる環境整備をお願いします。

2 学習環境の整備

【庶務課】

衛生環境面の改善や生活様式の変化に対応するため、小中学校校舎及び屋内運動場トイレの洋式化などの整備を進めます。また、校舎の老朽化した空調設備の更新を行います。（総合計画実施計画事業）

令和5年度決算額 下記のとおり

実施状況と成果

自己評価：B

小中学校管理諸室空調設備改修事業

令和5年度決算額 59,679千円

- 小学校2校（平尾小、豊小）で空調設備改修を実施した。※普通教室空調設備整備事業は、中学校は平成29年年度、小学校は平成30年・令和元年度で整備完了。

小中学校トイレ改修事業

令和5年度決算額 187,506千円

- 小学校7校、中学校3校で屋内運動場トイレ改修を実施した。
※校舎のトイレ改修は、令和2年度で整備完了。

【屋内運動場トイレ改修実施校】

中学校	小学校	
南部中学校	三蔵子小学校	金屋小学校
金屋中学校	牛久保小学校	御津北部小学校
御津中学校	中部小学校	御津南部小学校
	天王小学校	

自己評価と今後の展開

- 拡 充
 - 継 続
 - 見直し
 - 廃 止
 - 完 了
- 令和5年度は、南部中学校始め10校の屋内運動場トイレ改修工事を実施し、児童生徒たちの衛生環境面を改善し成果を上げることができた。令和6年度は、小学校9校、中学校3校の屋内運動場トイレ改修工事を予定している。管理諸室空調設備改修事業については、老朽化により故障している機器も多く、早急な対応が必要なため、工事に必要な予算を確保していく。また全小中学校における特別教室に空調設備の設置を進め、学校環境の改善を図る。

点検評価委員の評価及び意見等

■ 良好 □ 概ね良好 □ 要改善

学校の衛生環境改善に計画的かつ着実に取り組み、成果を上げている点は評価する。一方で、本年度のような記録的な暑さにも対応できるよう、空調設備について各学校の設置環境等や予算調整も行いながら整えていただきたい。衛生環境の維持向上に努めることで、児童生徒が施設を大切に利用する気持ちを育めるようにして欲しい。

5 学校給食施設の長寿命化と適正な管理

【学校給食課】

安全安心な学校給食を提供するため、学校給食施設の適正な管理を行うとともに、計画的な施設の修繕や調理機器の更新を行い長寿命化に取り組みます。（総合計画実施計画事業）

令和5年度決算額 143,101千円

実施状況と成果

自己評価：B

学校給食センター長寿命化事業（実）

令和5年度決算額 86,621千円

- 老朽化した学校給食センター施設の長寿命化を図るため、令和4年度から3か年の継続費事業として、空調設備の改修工事を行っており、令和5年度は、洗浄室、コンテナプール、事務室の空調改修工事を実施した。

南部学校給食センター蒸気配管更新等工事

- 蒸気配管更新等工事の入札を5月に実施したが不調となった。
- 工事内容を再検討し設計の修正を行った。
- 12月補正により工事内容、工事費及び工期を変更し、再入札を1月に実施し落札された。
 - 継続費 令和5年度～令和6年度を令和5年度～令和7年度に変更
(令和5年度の年割額は0、実質工事は令和6年度及び令和7年度に実施)
- 2月仮契約、3月5日議会にて請負契約締結し議決された。

計画的な施設修繕及び調理機器の更新

令和5年度決算額 56,480千円

- 学校給食センターにおいてフードスライサー（4台）、プレート殺菌庫（2台）、配送コンテナ（15台）を更新した。
- 学校給食センターにおいて厨房処理機を更新した。

自己評価と今後の展開

- 拡 充
 - 継 続
 - 見直し
 - 廃 止
 - 完 了
- 令和5年度は施設の予防保全型管理の方針に基づき計画的に施設及び調理機器等の修繕や更新を実施することができた。令和6年度は計画に基づき、学校給食センターでは野菜下処理室等の空調設備の改修工事を実施して空調改修工事を完了させる。
- 南部学校給食センターの蒸気管の更新工事は業者が決定したので、令和6年から令和7年にかけて更新工事を実施する。
- 引き続き、調理等の包括業務委託の中で設備の保守点検や簡易修繕を適正に実施し、安全で安心でおいしい学校給食を確実に提供していく。

点検評価委員の評価及び意見等

■ 良好 □ 概ね良好 □ 要改善

施設の長寿命化に向け、予防保全型管理の方針に基づき計画的な修繕、機材の更新を実施している点を評価する。今後も児童生徒の成長の助けとなる給食を、安全安心に提供できるよう、日常的な施設の保守点検に万全の注意をもって取り組んでいただきたい。

1 スポーツ施設の整備 【スポーツ課】

市民がスポーツに親しむことができる環境を整えるため、利用案内や予約受付の充実などにより利便性を高めます。また、施設の老朽化への対応として、施設総量の適正化を踏まえた予防保全や改修、長寿命化を計画的に進めるとともに、防災拠点としての安全性の確保に取り組みます。（総合計画実施計画事業）

令和5年度決算額 110,829千円

実施状況と成果 自己評価：B

体育施設費 令和5年度決算額 110,829千円

- 設修繕、営繕工事及び備品購入により、施設を充実させることで、利用促進を図ることができた。
 - 修繕料：総合体育館非常用発電設備修繕 2,734千円
 スポーツ公園サッカー場芝生修繕 1,320千円
 一宮体育センター屋内消火栓設備修繕 4,840千円
 - 工事請負費：音羽運動公園庭球場改修工事 46,674千円
 音羽運動公園キャンプ場改修工事 5,214千円
 武道館改修工事 5,295千円（繰越明許）
 - 委託料：総合体育館改修工事実施設計業務委託 21,520千円
 豊川市一宮庁舎等アスベスト含有調査業務委託 1,397千円
 - 備品購入費：自動体外式除細動器（AED）購入 289千円

自己評価と今後の展開

- 拡充
- 継続 令和6年度は総合体育館大規模改修工事を予定しているため、改修工事を実施するための実施設計をすることができた。
- 見直し 体育施設の老朽化に伴い、大規模改修が必要なところもあるが、今後も体育施設を安全で快適に利用できるよう、各施設の状況にあった効果的な改修や修繕、備品購入を進めていく。
- 廃止
- 完了

点検評価委員の評価及び意見等
 良好
 概ね良好
 要改善

総合体育館大規模改修工事を始めとする安心安全なスポーツ施設の環境整備は、技術の向上や更なるスポーツの普及につながるものである。計画的施設整備のみならず、現況に応じた改修や修繕、備品購入を行い、更に使いやすいスポーツ施設になることを期待する。

また、防災の拠点としての役割を果たすべく、日常的な部署連携への取り組みにも注力していただきたい。

1 生涯学習施設の活用 【生涯学習課】

生涯学習施設の有効活用を図るため、プリア生涯学習センターを核とする情報共有や連携、協力体制を強化し、生涯学習施設のネットワーク化を進めるほか、複合施設における関係各課・団体との連携事業を推進します。また、施設の老朽化への対応として、長寿命化や改修などを計画的に進め、利便性の向上に取り組みます。（総合計画実施計画事業）

令和5年度決算額 105,485千円

実施状況と成果 自己評価：B

生涯学習センター整備事業（実） 令和5年度決算額 11,528千円

- 「豊川市公民館・生涯学習会館再編方針」及び「豊川市公民館営繕計画」に基づき、下記のとおり整備事業を行った。
 - 豊川生涯学習センター改修工事の実施設計を行い、次年度の改修工事に向けた準備を進めた。
 - 御油生涯学習センターについて、地元や関係者との調整を行い、建設予定用地の地元同意と地権者から用地取得の承諾を得て、令和5年6月に近隣住民への説明会を実施した。

生涯学習センターの利活用促進

- 市民に対して学習・文化活動やコミュニティ活動の場として、生涯学習センターを提供した。
- 様々なグループ・サークル活動等を通じ、仲間づくり、地域づくりに繋げることができた。

生涯学習センターの管理運営 令和5年度決算額 7,342千円

- 各生涯学習センターにおいて、故障した箇所の修繕及び備品の購入を実施した。

【主な修繕・備品購入】 (千円)

内容	施設名	金額
集会室高天井照明設備修繕	一宮生涯学習センター	471
誘導灯設備修繕	音羽生涯学習センター	300
自動火災報知設備修繕	音羽生涯学習センター	299
	御津生涯学習センター	986
空調機器購入	音羽生涯学習センター	1,102
	御津生涯学習センター	979

自己評価と今後の展開

- 拡 充
 - 継 続
 - 見直し
 - 廃 止
 - 完 了
- 令和5年度は、施設の改修工事の準備を計画通りに実施するとともに、修繕等を行うことで施設の利便性の向上を図ることができた。施設の老朽化に関しては、計画的な改修や修繕等の実施が必要である。今後も、地域の生涯学習の拠点となる各生涯学習センターの利活用に資する情報提供を継続的に行うとともに、計画的に環境整備を行っていく。

点検評価委員の評価及び意見等 ■ 良好 □ 概ね良好 □ 要改善

生涯学習センターにて、多様な生涯学習講座を開催されていることは、町内会の回覧を通じ市民に周知されている。積極的な取組姿勢について感謝したい。生涯学習センターは、災害が発生した際の防災拠点・避難所も担っているが、「地域の交流の場である」という印象が強くなれば、災害時の不安軽減や心のケアの一助になると考える。今後も市民が利用しやすい環境整備と維持をお願いしたい。

**令和5年度
教育委員会事務の点検・評価報告書**

発行：令和6年10月

編集：豊川市教育委員会

〒441-0292

豊川市赤坂町松本250番地

TEL：0533-88-8032

FAX：0533-88-8038